

《どうでもいい話、その 502》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

前回のモテる話で、小学1年生の女の子が私のことを「かわいー！」と言ったのは、そのあとの「そー」を聞き漏らしたのでは？とのご意見や「若い女の子や高齢者の女性からモテるといって、幼女ワイセツ行為とか高齢者に対するアポ電、改元詐欺などに発展しないようご注意ください」とのご忠告を頂きました。そんなことをしたらチコちゃんに叱られるので、しません。これからは、慎重深く“令和”でいきます。われわれ一般の男どもは、集団の中で男対女の間係を、常にモテているか、モテていないか、という観点で考えてしまいます。そして、モテていないことが分かるや、いち早くひがみ、モテていることがわかるや、いち早くウハウハ有頂天になってしまいます。モテるか、モテないかのどちらかに区分し、自分をこのどちらかに一刻も所属させたいと、もがき苦しむのです。しかし、本当にモテる男は、ほっといても女性の方から寄ってきます。そして「またかー、めんどくさい」と無視します。一度でいいからそんなことを言ってみたいものです。

岩波より